OSCE 時間管理プログラム
（端末用・管理用）

取扱説明書

2012 年 3 月

著作・製作　千葉科学大学、大高泰靖

目次

第 1 章　OSCE 時間管理プログラムについて

＜本プログラムの作製目的＞

薬学共用試験 客観的臨床能力試験（OSCE）において実施される計量調剤（散剤）などの実技試験では、受験学生への公平性等の観点から、「試験課題を読む」時間、「試験課題を行う」時間が決められており、正確に案内放送を行い、試験を実施する必要があります。また、本試験では、6 つの課題項目があり、それらの項目間で「課題を読む」時間の長さが異なるため、全会場同時の一斉放送を利用し難い状況です。また、大学により設備が異なるため、6 つの試験部屋の配置が異なり、受験学生の部屋間移動時間が異なります。さらに、それぞれの課題の試験部屋において、受験前後の学生を接触させてはいけないため、学生の動線・移動のタイミングを細かく調整する必要があります。

そのため、各試験会場の時間管理を正確に行うための案内放送システムとして「OSCE 時間管理用プログラム」を作製致しました。

＜本プログラムを使用するにあたり＞（必ずお読みください）

本プログラム「OSCE 時間管理プログラム」は、無償公開をしております。そのため、使用により問題が生じた場合でも、千葉科学大学および作成者・大高泰靖は責任を負いかねますのでご了承下さい。本プログラムの製作・著作は、千葉科学大学薬学部および作成者・大高泰靖が有しております。**本使用許諾契約に同意頂けない場合は、本プログラムをご使用できません。**ご注意ください。

本プログラムを **OSCE 等で使用された場合は、使用された旨を報告書等に記載の程お願い申し上げます。**そして、千葉科学大学薬学部 大高泰靖まで使用報告の連絡を頂けましたら幸いです。

＜プログラムの利用期限＞

公開プログラムは試用版であり、ダウンロードから 2 か月間 ご利用頂けます。本プログラムを継続利用する際には、ユーザー登録が必要となります（無償）。ユーザー登録（利用機関名・大学名、管理者名、メールアドレス）を行うことで、申請日から 3 年間利用することができます。**更新をご希望の方は、第 5 章 ユーザー登録・使用期限の更新（p31）をご覧ください。**

本プログラムに関するお問い合わせは、次の連絡先でお受けいたしますが、返答にお時間を要する場合があります。また、それぞれの教育機関に応じたプログラム変更等は行いませんので、ご了承の上、ご使用ください。

＜連絡先＞

千葉科学大学 薬学部
物理薬学系 薬品分析学研究室
大高泰靖
〒288-0025 千葉県銚子市潮見町 15-8
E-mail：hohtaka@cis.ac.jp
（お電話での対応はしておりませんので、メールにてお願いします）

＜使用環境＞

1. Microsoft Windows 7 (32/64bit), Windows XP SP2 以上
   （Windows Vista でも動作しますが、時刻が 1-2 秒遅延します。他の動作は問題ありません）
2. ディスプレイの表示領域：1024x768 ドット以上
3. メモリ 512MB 以上
4. 使用ハードディスク： 50MB
5. Windows Update が実行され、最新の Windows 環境であること
6. Microsoft .NET Framework Version 2.0 以上（Windows Update を行うことで条件を満たす）

＜プログラムの使用許諾契約＞

第 1 条 本契約の成立、効力、終了

1. 利用者が、本プログラム「OSCE 時間管理プログラム」の全部又は一部をコンピューターのハードディスク等の記憶装置へ保存したとき、または本プログラムを使用したとき、本使用許諾契約に同意したものとします。
2. 利用者が、保存した本プログラムの全てを削除することにより、本契約を終了させることができます。
3. 作成者・大高泰靖は、本プログラムの公開を中止し、利用継続を認めず本契約を終了させることができます。
4. 利用者は、理由のいかんを問わず、本契約の終了について千葉科学大学および作成者・大高泰靖に対し補償金その他いかなる名目での支払いも請求することはできないものとします。

第 2 条 禁止事項

1. 利用者は、本プログラムおよび音声データを第三者に配布、レンタル、リース、貸与、譲渡することはできません。
2. 利用者は、本プログラムに対して修正を加えること、逆コンパイル、逆アセンブル等を行うことはできません。

第 3 条 著作権

1. 本プログラムの著作権は、千葉科学大学および作成者・大高泰靖に帰属します。

第 4 条 免責

1. 千葉科学大学および作成者・大高泰靖は、利用者、その他第三者が本プログラムの使用に関連して蒙ったいかなる損害に対しても、賠償等の一切の責任を負わず、利用者はこれに対して千葉科学大学および作成者・大高泰靖に対して免責するものとします。
2. 作成者・大高泰靖は、独自の判断に基づき、本プログラムの仕様・内容の変更、修正、配布方法等の変更及び対価の設定をすることができます。
3. 千葉科学大学および作成者・大高泰靖から提供される本プログラムに関する情報についても、直接間接問わず、本条各項の規定が適用されます。

＜プログラムの入手方法とインストール方法＞

1. 千葉科学大学　大高泰靖　ホームページ（URL：http://www.cis.ac.jp/~ohtaka/program.html）にアクセスしてください。
2. 同ホームページの「プログラムのダウンロード」からファイルをダウンロードしてください。
   (ア) 「端末用プログラムのみ」をダウンロードした場合
      ① ダウンロードファイルは「CIS-OSCE.zip」であり、その中には「OSCE 時間管理プログラム（端末用）.exe」があります。
      ② 「OSCE 時間管理プログラム（端末用）.exe」を起動してください。
      ③ 図 1-1 が表示され、1-2 秒後に図 1-2 が表示されます。

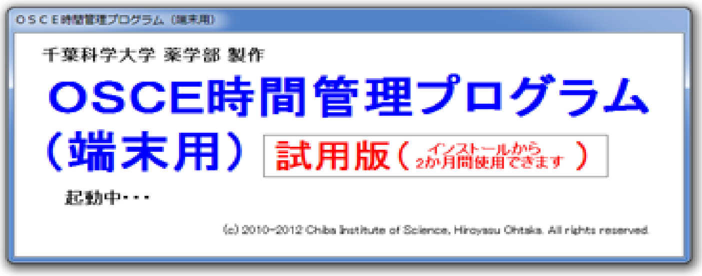


図 1-1

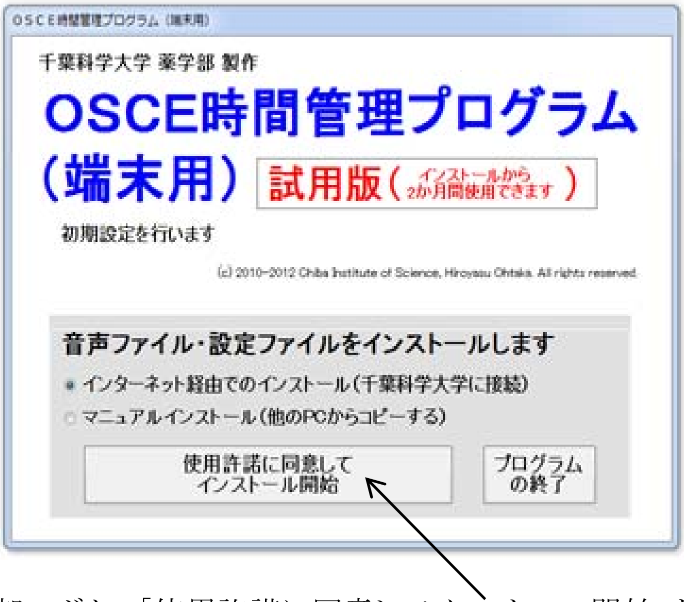


図 1-2

      ④ 画面下部のボタン「使用許諾に同意してインストール開始」をクリックしてください。
      ⑤ 表 1、表 2 に示す音声ファイルや設定ファイルがダウンロードされます。
      （ダウンロードの途中でキャンセルすることも可能です）
      ⑥ ダウンロードが終了すると画面が図 1-3 に変わり、プログラムを起動することができます。これでインストール完了です。
      （必要な音声・設定ファイルをすべてダウンロード・保存しないとプログラムを使用することができません）
      ⑦ 画面下部のボタン「プログラムの起動」をクリックすることで、プログラムが起動します（図 1-4）。
      ⑧ <u>プログラムは、フォルダ「**c:¥OSCE¥**」に保存されますので、必要に応じてプログラムのショートカットをデスクトップに作成してください。</u>

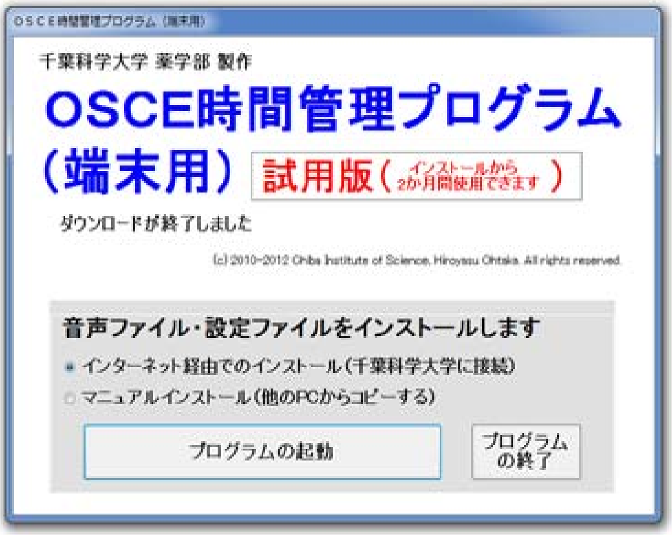


図 1-3

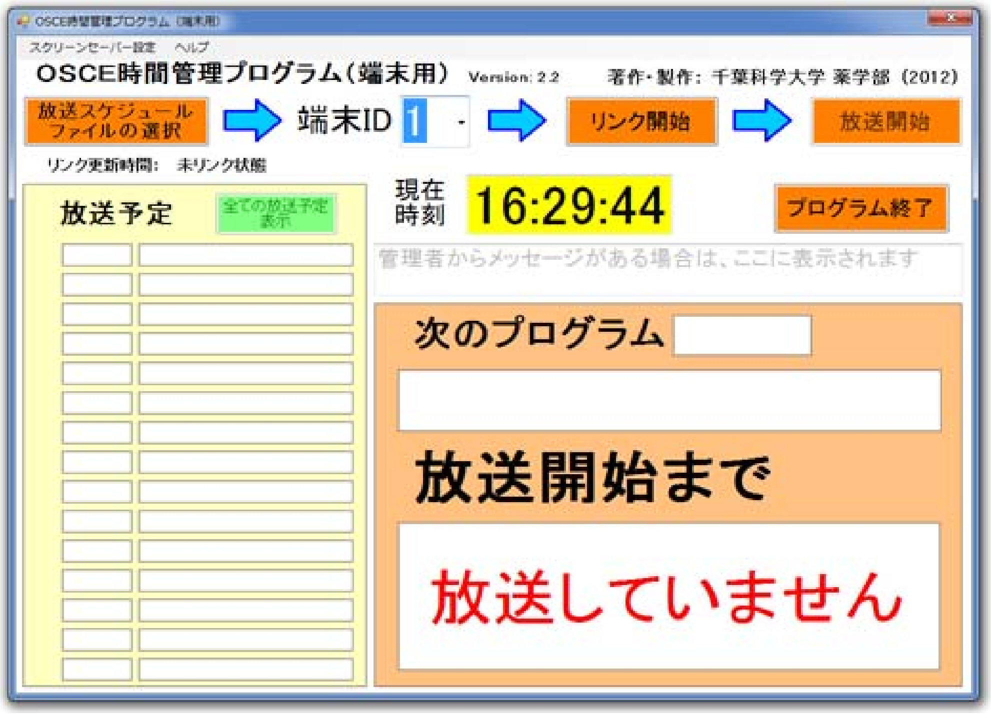


図 1-4

＜プログラムの入手方法とインストール方法（別方法）＞

（イ）「音声データを含む OSCE 時間管理プログラム」をダウンロードした場合

① ダウンロードファイルは「CIS-OSCE-Full Package.zip」であり、その中にはフォルダ「OSCE」があります。

② フォルダ「OSCE」を、C ドライブにコピーします。
（注意： その際必ず C ドライブにコピーし、「c:¥OSCE¥」が生成されたことを確認してください。プログラムは、このフォルダ以外では動作しません。

③ フォルダ「c:¥OSCE¥」にある「OSCE 時間管理プログラム（端末用）」をクリックしてください。

④ 図 1-1 の画面が現れ、数秒後に図 1-4 に変わり、プログラムが起動します。

⑤ 必要に応じてプログラムのショートカットをデスクトップに作成してください。

＜プログラムの入手方法とインストール方法（別方法 2）＞

（ウ） プログラムがインストールされたコンピューターからデータをコピーする場合

① プログラムがインストールされたコンピューターにはフォルダ「c:¥OSCE¥」が存在します。

② このフォルダを USB メモリ等にコピーしてください。

③ 別のコンピューターの C ドライブにコピーしてください。

④ フォルダ「c:¥OSCE¥」にある「OSCE 時間管理プログラム（端末用）」をクリックしてください。

⑤ 図 1-1 の画面が現れ、数秒後に図 1-4 に変わり、プログラムが起動します。

⑥ **プログラムは、フォルダ「c:¥OSCE¥」に保存されますので、必要に応じてプログラムのショートカットをデスクトップに作成してください。**

＜インストールされるファイルの保存場所＞

（重要）ファイル名・保存フォルダを変更すると、正しく動作しませんので、変更しないでください。

表 1. 重要なファイルの保存場所

説明書での名称	保存フォルダ名	ファイル名
端末用プログラム	C:¥OSCE¥	OSCE 時間管理プログラム（端末用）.exe
管理用プログラム	C:¥OSCE¥	OSCE 時間管理プログラム（管理用）.exe
取扱説明書	C:¥OSCE¥	OSCE 時間管理プログラム 取扱説明書.pdf
音声ファイル	C:¥OSCE¥音声データ¥	○○○.wav（表 2 に示す） （ファイル名は変更できません）
放送スケジュール	C:¥OSCE¥	OSCE 放送スケジュール.csv
放送スケジュール（エクセル版）	C:¥OSCE¥	OSCE 放送スケジュール.xls
設定ファイル	C:¥OSCE¥設定¥	FileIndex.ini OSCE Program Setting.ini
時計同期用バッチファイル	C:¥OSCE¥設定¥	時計同期（同期間隔 1 週間：デフォルト）.bat 時計同期（同期間隔 10 分間）.bat

表 2. 放送番号と音声ファイルの名称

（70 番台は、ユーザーで設定できます。ただし、ファイル名は変更できません）

放送番号	放送内容	ファイル名（変更できません）
＜初期設定＞		
1	移動開始	01 移動開始.wav
2	課題読む	02 課題読む.wav
3	課題開始	03 課題開始.wav
4	課題終了 1 分前	04 課題終了一分前.wav
5	課題終了・移動開始	05 課題終了・移動開始.wav
6	課題終了	06 課題終了.wav
9	移動開始 1 分前	09 移動開始 1 分前.wav
10	移動開始 30 秒前	10 移動開始 30 秒前.wav
13	課題終了・フィードバック開始	13 課題終了・フィードバック開始.wav
14	フィードバック終了・移動開始	14 フィードバック終了・移動開始.wav
15	フィードバック終了	15 フィードバック終了.wav
16	15 分後説明会	16 15 分後説明会.wav
17	開始 2 分前	17 開始 2 分前.wav
18	開始 1 分前	18 開始 1 分前.wav
19	休憩に入る	19 休憩に入る.wav
20	放送終了のアナウンス	20 放送終了のアナウンス.wav
21	トライアル開始 2 分前	21 トライアル開始 2 分前.wav
22	トライアル開始 1 分前	22 トライアル開始 1 分前.wav
25	テストラン開始 5 分前	25 テストラン開始 5 分前.wav
26	テストラン開始 1 分前	26 テストラン開始 1 分前.wav
90	トラブル・再開のアナウンス	90 トラブル・再開のアナウンス.wav
91	再開 1 分前	91 再開 1 分前.wav
99	トラブル発生のアナウンス	99 トラブル発生のアナウンス.wav
＜ユーザー追加設定＞		
70	ユーザー設定	特別 70.wav
71	ユーザー設定	特別 71.wav
72	ユーザー設定	特別 72.wav
73	ユーザー設定	特別 73.wav
74	ユーザー設定	特別 74.wav
75	ユーザー設定	特別 75.wav
76	ユーザー設定	特別 76.wav
77	ユーザー設定	特別 77.wav
78	ユーザー設定	特別 78.wav
79	ユーザー設定	特別 79.wav

＜プログラムのアンインストール方法＞

1. コンピューターの内部時計の自動更新間隔が 10 分間隔になっている場合がありますので、フォルダ「c:¥OSCE¥設定¥」にあるファイル「時計同期(同期間隔 1 週間:デフォルト).bat」を右クリックし、「管理者として実行」してください。図 1-5 が表示されます。

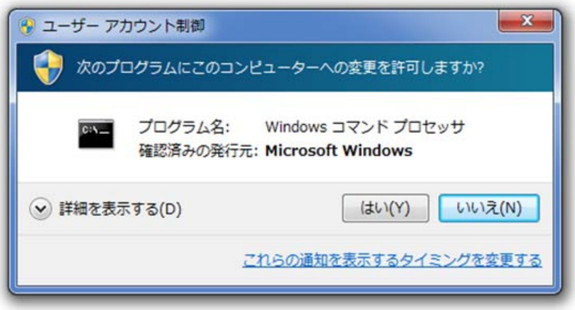


図 1-5

「はい」を押すことで、コンピューターの内部時計の自動更新間隔がデフォルトの 1 週間間隔となります。

備考) もしこの操作を忘れた場合は、自己責任で Windows のレジストリーを以下のように変更してください。変更方法はインターネット等で検索の程お願いします。

レジストリーキー	「HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥CurrentControlSet¥Services¥W32Time¥TimeProviders¥NtpClient」
サブキー	「SpecialPollInterval」
値	「604800」(10 進数) ・・・ 604800 秒間隔(1 週間間隔)という意味

2. C ドライブにあるフォルダ「OSCE」(c:¥OSCE¥)を削除することでアンインストールすることができます。

第 2 章　案内放送を行う“端末用プログラム”の使用方法

第 1 節　案内放送を 1 台のコンピューターで放送する場合（単独使用）（管理せず）

1. フォルダ「c:¥OSCE¥」にある「OSCE 時間管理プログラム（端末用）」を起動します。
2. 端末用プログラムのメイン画面が表示されます（図 2-1）。

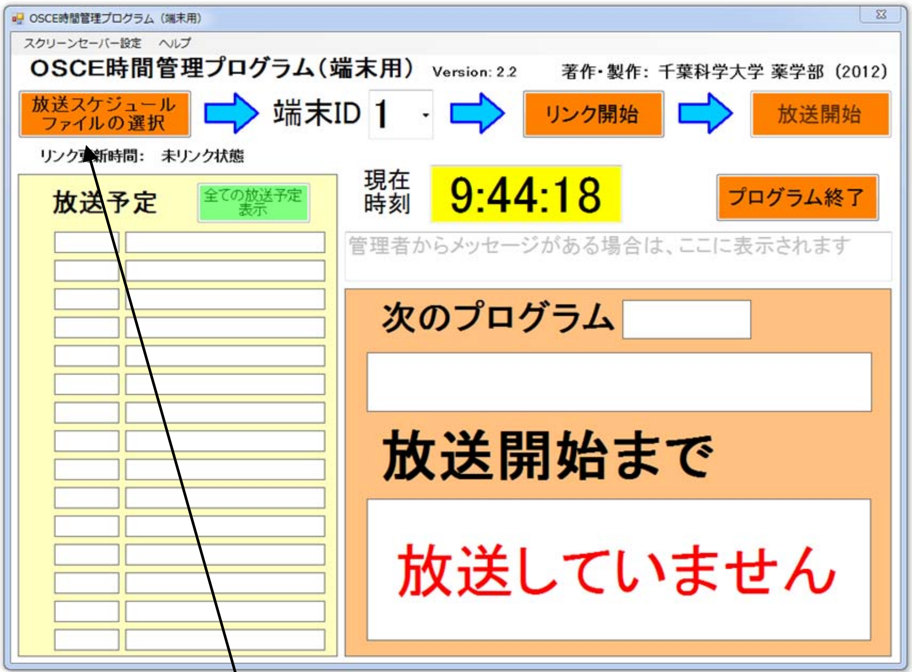


図 2-1

3. 画面左上の「放送スケジュールファイルの選択」ボタンをクリックします。
4. 「放送スケジュールの管理」画面（図 2-2）で、「このコンピューターのフォルダ「c:¥OSCE¥」にあるファイルを使用」にチェックがついていること（デフォルト）を確認して、「選択完了（閉じる）」ボタンをクリックします。

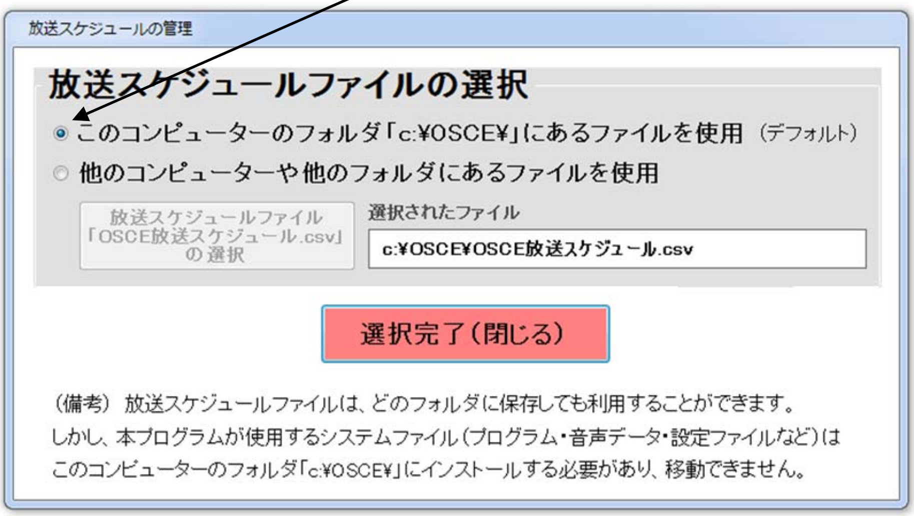


図 2-2

5.　本端末で放送する、放送スケジュールの端末 ID を選択してください(図 2-3)。



図 2-3

6.　右隣の「リンク開始」ボタンを押すことで、放送スケジュールを読み込みます。

7.　現在の時刻が放送開始前であれば、図 2-4 のように放送予定に放送スケジュールが表示される。もしくは、現在の時刻が放送スケジュールよりも遅い場合は、図 2-5 のように「全ての放送が終了」と表示されます。

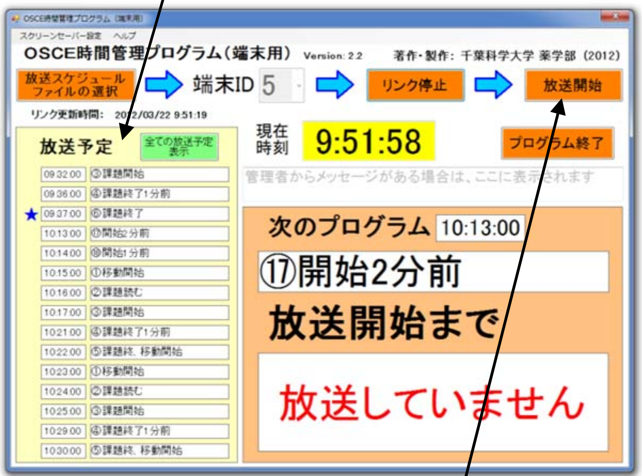


図 2-4　現在の時刻が放送開始前の場合

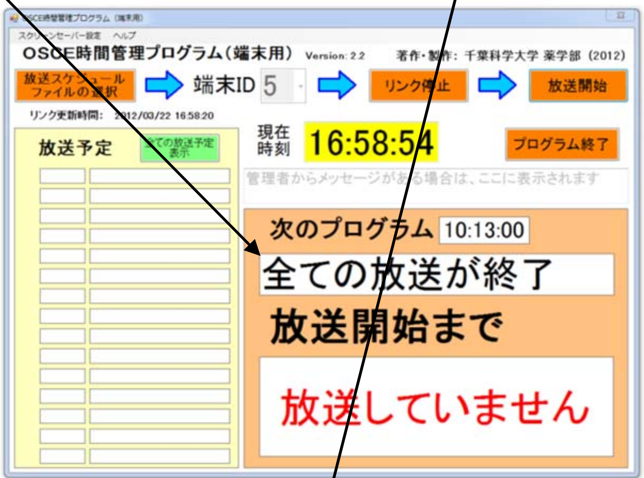


図 2-5　現在の時刻が放送スケジュール

8.　図 2-4 のように放送スケジュールが表示されている状態で、「放送開始」ボタンを押してください。

9. メイン画面の背景がピンク色になり、放送開始までの時間が表示されます（図 2-6）。



図 2-6

10. 放送開始までの時間が 0 になると、次のプログラム「17　開始 2 分前」（本例では）のアナウンスが放送されます。

11. 放送スケジュールに記載された放送が終了するまで、放送が行われます。全ての放送が終了すると、図 2-7 のように表示されます。

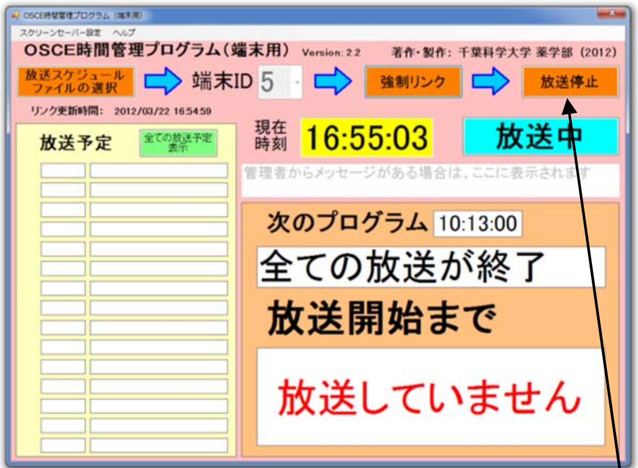


図 2-7

12. 案内放送を終了する場合は、メイン画面の右上の「放送停止」ボタンを押してください。
図 2-8 が表示されますので、終了する場合は「はい」、放送を続ける場合は「いいえ」を押してください。



図 2-8

13. **本プログラムを終了する場合は**、放送スケジュールとのリンクを解除する必要があります。
メイン画面の右上の**「リンク停止」ボタンを押す**ことで図 2-9 のようになりますので、**次に「プログラム終了」ボタンを押して、プログラムを終了してください。**



図 2-9

14. ＜備考＞　放送スケジュールに登録された放送内容を表示する場合には、メイン画面の放送予定表にある「全ての放送予定　表示」を押してください。図　2-10　が表示され、スクロールすることで、全てのスケジュールを確認することができます。



図 2-10

15.（追加機能： 手動での放送スケジュールの更新） 放送スケジュールを更新する場合は、次の手順を取る必要があります。

(ア) エクセル等を使用し、放送スケジュールを変更してください。

(イ) エクセル等を使用する場合は、必ず、CSV（カンマ区切り）形式で保存してください。

(ウ) 放送スケジュールのファイルを、「C:¥OSCE¥OSCE 放送スケジュール.csv」と置き換えてください。（直接このファイルを編集して頂いても OK です）

（重要）この状態では、端末用プログラムの放送スケジュールは更新されません。

(エ) メイン画面の「強制リンク」ボタンを押すことで、放送スケジュールが更新されると共に、リンク更新時間が更新されます。

図 2-11



16.（追加機能：放送内容の記録（放送ログ）） 放送した内容と時刻が、以下の記録内容の例のように記録されます。この放送ログの記録場所はフォルダ「C:¥OSCE」です。ファイル名は 0305-log 1.log（日付と端末 ID 番号を示します）。

記録内容は、「放送スケジュール」を読み込んだ時間、放送した時刻・内容とその放送スケジュールが記録されたファイル「OSCE 放送スケジュール.csv」の行番号です。

＜記録内容の例＞

,放送プログラムを読み込みました。2010/01/24 08:09.37 , コメント:

32, 8:20:00, 1,①移動開始

33, 8:20:30, 2,②課題読む

34, 8:21:00, 3,③課題開始

35, 8:21:30, 4,④課題終了 1 分前

36, 8:22:00, 5,⑤課題終了、移動開始

37, 8:22:30, 6,⑥課題終了

放送終了後、放送ログが不必要な場合は、削除してください。

第 2 節　任意のフォルダにある放送スケジュールを用いる場合

1. プログラムがインストールされたコンピューターだけでなく、ネットワーク上の共有フォルダ上にある放送スケジュールも読み込み、放送できます。
2. OSCE 時間管理プログラム（端末用）を起動します。
3. 端末用プログラムのメイン画面が表示されます（図 2-12）。

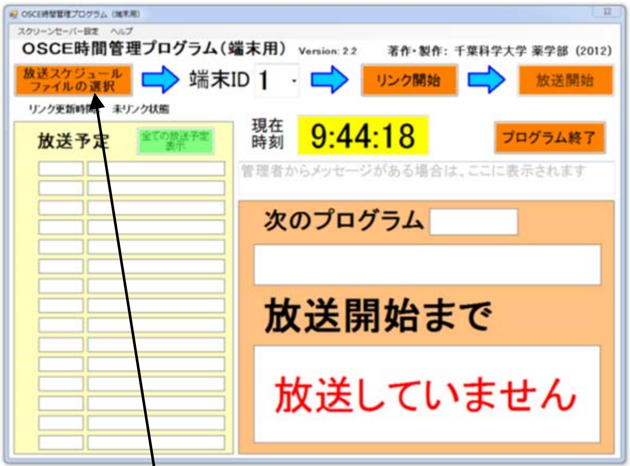


図 2-12

4. 画面左上の「放送スケジュールファイルの選択」ボタンをクリックします。
5. 「放送スケジュールの管理」画面（図 2-13）で、「他のコンピューターや他のフォルダにあるファイルを使用」にチェックを付け、その下のボタン「放送スケジュールファイルの選択」をクリックします。

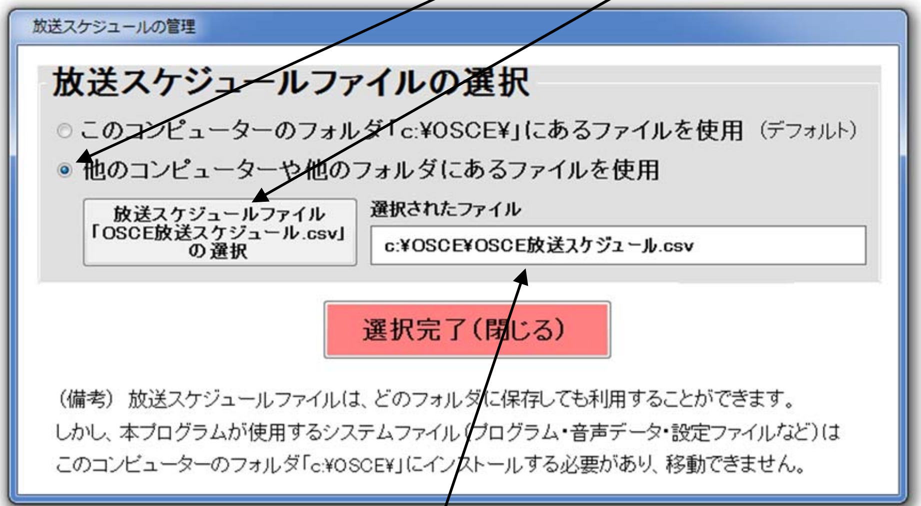


図 2-13

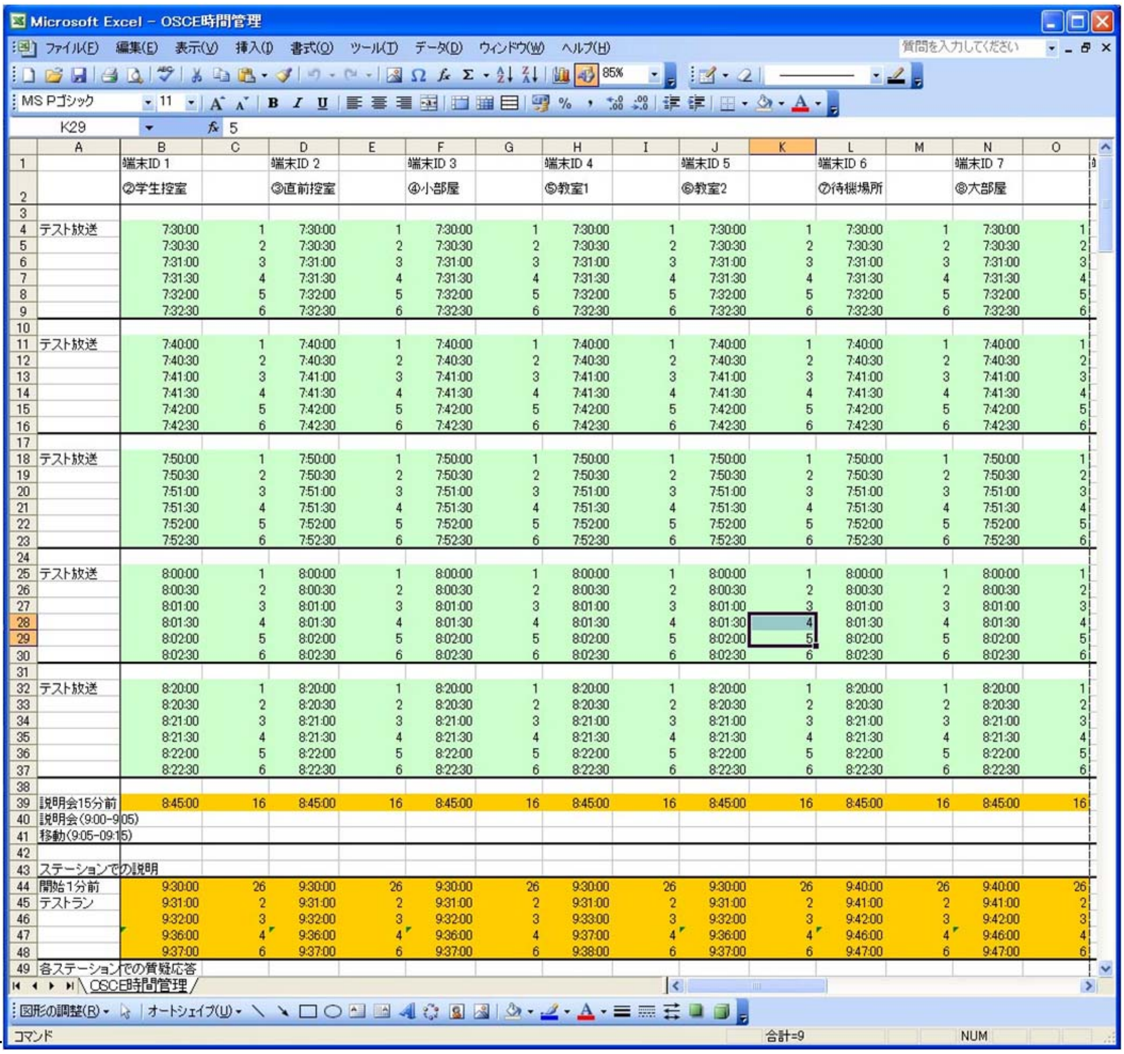
6. 任意の放送スケジュールファイルを開きます。その際、ファイル名は「OSCE 放送スケジュール」でなくてもよく、ネットワーク　上の共有フォルダでもよいです。ただし、ファイル形式は、CSV（カンマ区切り）形式であることが条件です。
7. 選択されたファイルが図 2-13 に表示されたことを確認し、「選択完了（閉じる）」ボタンをクリックします。
8. 以下の操作手順は、第 2 章　第 1 節の端末プログラム（単独使用）と同様となります。

第 3 節　放送スケジュールの設定

プログラムに同封する放送スケジュール（エクセル版）を基に作成して頂くと簡単に作成できます。

1. フォルダ「C:¥OSCE¥」にある「OSCE 放送スケジュール.xls」を開きます。

2. 図 2-14 が表示される。



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
1		端末ID 1		端末ID 2		端末ID 3		端末ID 4		端末ID 5		端末ID 6		端末ID 7	
2		②学生控室		③直前控室		④小部屋		⑤教室1		⑥教室2		⑦待機場所		⑧大部屋	
3															
4	テスト放送	7:30:00	1	7:30:00	1	7:30:00	1	7:30:00	1	7:30:00	1	7:30:00	1	7:30:00	1
5		7:30:30	2	7:30:30	2	7:30:30	2	7:30:30	2	7:30:30	2	7:30:30	2	7:30:30	2
6		7:31:00	3	7:31:00	3	7:31:00	3	7:31:00	3	7:31:00	3	7:31:00	3	7:31:00	3
7		7:31:30	4	7:31:30	4	7:31:30	4	7:31:30	4	7:31:30	4	7:31:30	4	7:31:30	4
8		7:32:00	5	7:32:00	5	7:32:00	5	7:32:00	5	7:32:00	5	7:32:00	5	7:32:00	5
9		7:32:30	6	7:32:30	6	7:32:30	6	7:32:30	6	7:32:30	6	7:32:30	6	7:32:30	6
10															
11	テスト放送	7:40:00	1	7:40:00	1	7:40:00	1	7:40:00	1	7:40:00	1	7:40:00	1	7:40:00	1
12		7:40:30	2	7:40:30	2	7:40:30	2	7:40:30	2	7:40:30	2	7:40:30	2	7:40:30	2
13		7:41:00	3	7:41:00	3	7:41:00	3	7:41:00	3	7:41:00	3	7:41:00	3	7:41:00	3
14		7:41:30	4	7:41:30	4	7:41:30	4	7:41:30	4	7:41:30	4	7:41:30	4	7:41:30	4
15		7:42:00	5	7:42:00	5	7:42:00	5	7:42:00	5	7:42:00	5	7:42:00	5	7:42:00	5
16		7:42:30	6	7:42:30	6	7:42:30	6	7:42:30	6	7:42:30	6	7:42:30	6	7:42:30	6
17															
18	テスト放送	7:50:00	1	7:50:00	1	7:50:00	1	7:50:00	1	7:50:00	1	7:50:00	1	7:50:00	1
19		7:50:30	2	7:50:30	2	7:50:30	2	7:50:30	2	7:50:30	2	7:50:30	2	7:50:30	2
20		7:51:00	3	7:51:00	3	7:51:00	3	7:51:00	3	7:51:00	3	7:51:00	3	7:51:00	3
21		7:51:30	4	7:51:30	4	7:51:30	4	7:51:30	4	7:51:30	4	7:51:30	4	7:51:30	4
22		7:52:00	5	7:52:00	5	7:52:00	5	7:52:00	5	7:52:00	5	7:52:00	5	7:52:00	5
23		7:52:30	6	7:52:30	6	7:52:30	6	7:52:30	6	7:52:30	6	7:52:30	6	7:52:30	6
24															
25	テスト放送	8:00:00	1	8:00:00	1	8:00:00	1	8:00:00	1	8:00:00	1	8:00:00	1	8:00:00	1
26		8:00:30	2	8:00:30	2	8:00:30	2	8:00:30	2	8:00:30	2	8:00:30	2	8:00:30	2
27		8:01:00	3	8:01:00	3	8:01:00	3	8:01:00	3	8:01:00	3	8:01:00	3	8:01:00	3
28		8:01:30	4	8:01:30	4	8:01:30	4	8:01:30	4	8:01:30	4	8:01:30	4	8:01:30	4
29		8:02:00	5	8:02:00	5	8:02:00	5	8:02:00	5	8:02:00	5	8:02:00	5	8:02:00	5
30		8:02:30	6	8:02:30	6	8:02:30	6	8:02:30	6	8:02:30	6	8:02:30	6	8:02:30	6
31															
32	テスト放送	8:20:00	1	8:20:00	1	8:20:00	1	8:20:00	1	8:20:00	1	8:20:00	1	8:20:00	1
33		8:20:30	2	8:20:30	2	8:20:30	2	8:20:30	2	8:20:30	2	8:20:30	2	8:20:30	2
34		8:21:00	3	8:21:00	3	8:21:00	3	8:21:00	3	8:21:00	3	8:21:00	3	8:21:00	3
35		8:21:30	4	8:21:30	4	8:21:30	4	8:21:30	4	8:21:30	4	8:21:30	4	8:21:30	4
36		8:22:00	5	8:22:00	5	8:22:00	5	8:22:00	5	8:22:00	5	8:22:00	5	8:22:00	5
37		8:22:30	6	8:22:30	6	8:22:30	6	8:22:30	6	8:22:30	6	8:22:30	6	8:22:30	6
38															
39	説明会15分前	8:45:00	16	8:45:00	16	8:45:00	16	8:45:00	16	8:45:00	16	8:45:00	16	8:45:00	16
40	説明会(9:00-9:05)														
41	移動(9:05-09:15)														
42															
43	ステーションでの説明														
44	開始1分前	9:30:00	26	9:30:00	26	9:30:00	26	9:30:00	26	9:30:00	26	9:40:00	26	9:40:00	26
45	テストラン	9:31:00	2	9:31:00	2	9:31:00	2	9:31:00	2	9:31:00	2	9:41:00	2	9:41:00	2
46		9:32:00	3	9:32:00	3	9:32:00	3	9:33:00	3	9:32:00	3	9:42:00	3	9:42:00	3
47		9:36:00	4	9:36:00	4	9:36:00	4	9:37:00	4	9:36:00	4	9:46:00	4	9:46:00	4
48		9:37:00	6	9:37:00	6	9:37:00	6	9:38:00	6	9:37:00	6	9:47:00	6	9:47:00	6
49	各ステーションでの質疑応答														

図 2-14

3. 放送スケジュール（エクセル版）の **A 列（1 番左の列）は、コメントを記載する欄です。自由に設定することができます。** ただし、セル A1（列 A の 1 行目）には何も記載しないでください。
4. その右側には、**端末ごとに、放送時間と放送番号が記載されます。** 放送番号は、第 1 章の表 2 音声ファイルの名称に従って入力します。ただし、**放送番号「0」は、無視され、放送されません（例はプログラムをダウンロードした際に保存されている放送スケジュールのエクセル版です。セル C137 のように）。**

5. 放送スケジュール（エクセル版）の上 2 行（行番号 1、2）には、端末 ID と端末名称が記載されます。**端末名称は、管理用プログラムに表示されるので、5 文字までの分かりやすい単語で記載してください。**

6. 全ての放送開始時間を入力するのは、大変の手間が掛かり、入力間違いを起こし易いので、<u>同封する放送スケジュール（エクセル版）のように、数式を使って、放送時間を入力すべきと考えます。</u>

（例）　セル B53 に「9:54:00」を入力します。
　　　　セル B52 に「9:53:00」を入力したい場合は、セル B52 に「=B53-1/60/24」と入力するとよい。
　　　　エクセルでは、あるセル（時刻表示形式）に「+1」は、「+1 日」を示します。
　　　　同様に、「+1/24」は「+1 時間」、「+1/24/60」は「+1 分」、「+1/24/60/60」は「+1 秒」を示します。

同封する放送スケジュール（エクセル版）では、午前の放送は「セル B53」の時間を基準に、午後の放送は「セル B180」の時間を基準に自動的に調整されます。また、テストランの放送は「セル B44」の時間を基準に自動的に調整されます。

7. 放送スケジュールを作成し、放送番号、放送時間に間違いがないか再度確認を取ります。
8. エクセルで作成した放送スケジュールをエクセル形式で保存します。

9. 次に、CSV（カンマ区切り）形式で次のように保存します。タブ「ファイル」の「名前を付けて保存」を選択すると、図 2-15 が表示されます（Excel 2003 版では、Excel2010 版でも同様の画面）。そして、**「ファイルの種類」で「CSV（カンマ区切り）」**を選択し、保存する。**その際、ファイル名は任意に変更できます。**

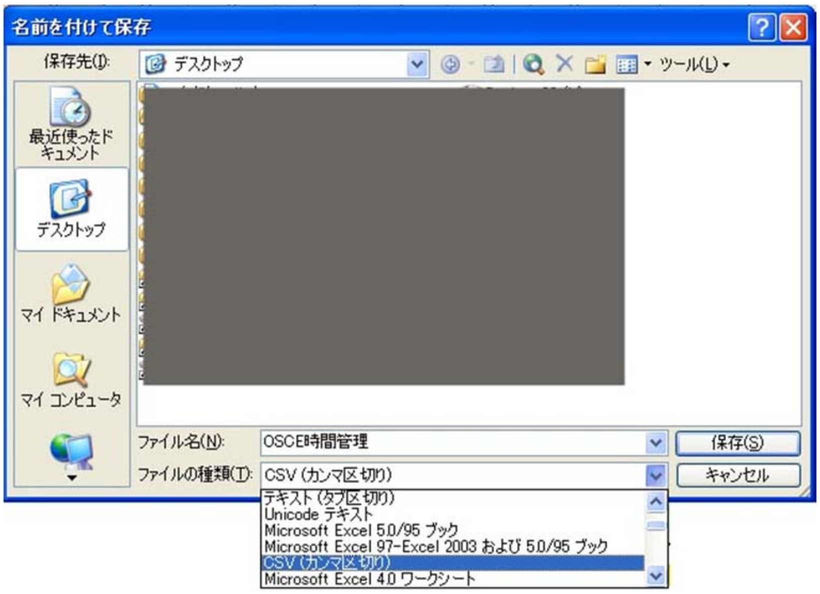


図 2-15

10. CSV（カンマ区切り）形式のファイル「OSCE 放送スケジュール.csv」を直接編集することは避けるべきです。可能ですが避けてください。

第３章　遠隔監視・管理を行う“管理用プログラム”の使用方法

第１節　遠隔監視のためのネットワーク設定

（重要）ネットワーク設定は大学により仕組みや設定が異なるため、コンピューターに詳しい教職員にお尋ねして頂くことをお勧めする。

1. 管理用コンピューターの任意のフォルダを共有フォルダに設定します。

　例：¥¥OSCE-PC01¥OSCE-Kanri

2. 管理用コンピューターに、新しいユーザーアカウントを作ります

　（ア）Windows の「コントロールパネル」から「ユーザーアカウント」を開きます

　（イ）「新しいアカウントを作成する」を選び、「OSCE」など任意の名前を入力します

　（ウ）「コンピューターの管理者」を選択し、「アカウントの作成」を押します

　（エ）新しく作成したアカウントを選択し、「パスワードを作成する」を押します

　（オ）パスワード「OSCE2012」（任意）を設定します

3. 管理用コンピューターと端末用コンピューターを LAN ネットワークに接続します。

　注意：通信回線が不安定な無線 LAN では接続しないでください。

4. 端末用コンピューターから、管理用コンピューターの共有フォルダに参照設定を行う

　（ア）<u>端末用コンピューター</u>において、マイコンピュータを開く

　（イ）「ネットワークドライブの割り当て」を押す

　（ウ）図 3-1 のフォルダの欄に、「¥¥（管理用コンピューターのコンピューター名）¥（共有フォルダ名）」と入力する。もしくは、参照ボタンから探し出す。

　　例：¥¥OSCE-PC01¥OSCE-Kanri

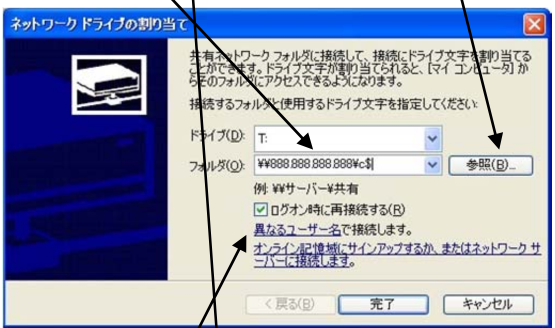


図 3-1

　（エ）図 3-2 の「異なるユーザー名」を押し、表示される図 3-2 のユーザー名とパスワードに、先ほど管理用コンピューターで設定したものを入力する。



図 3-2

（オ） ファイヤーウォールの設定が正しくされている場合は、フォルダが開き、管理用コンピューターの共有フォルダを参照できます。フォルダは閉じてください。

（カ） 同様の操作を、各端末用コンピューターで行ってください。

5. （必要ならば）管理用コンピューターのファイヤーウォールの設定変更

端末用コンピューターがネットワークを介して、管理用コンピューターにアクセスする必要があります。そのため、**管理用コンピューター及び端末用コンピューターのファイヤーウォールの設定を変更し、端末用コンピューターが管理用コンピューターにアクセスできるように設定してください。**ファイヤーウォールの設定は、搭載しているセキュリティーソフトにより設定方法が異なるため、手順は掲載しません。**コンピューターに詳しい教職員にお尋ねして頂くことをお勧めします。**または、遠隔監視する際のみ、ファイヤーウォールを OFF にして頂いても使用することができます。

（備考）使用終了後、以前の状態に戻されることをお勧めします

第 2 節　遠隔監視・管理を行う“管理用プログラム”の使用方法

1. フォルダ「c:¥OSCE¥」にある「OSCE 時間管理プログラム（管理用）」を起動します。

2. 管理用プログラムのメイン画面が表示されます。（図 3-3）。



図 3-3

3. 画面上の「放送スケジュールファイルの設定」ボタンをクリックします。
「放送スケジュールの管理」画面（図 3-4）で、「他のコンピューターや他のフォルダにあるフィルを使用」にチェックを付け、その下のボタン「放送スケジュールファイルの選択」をクリックします。

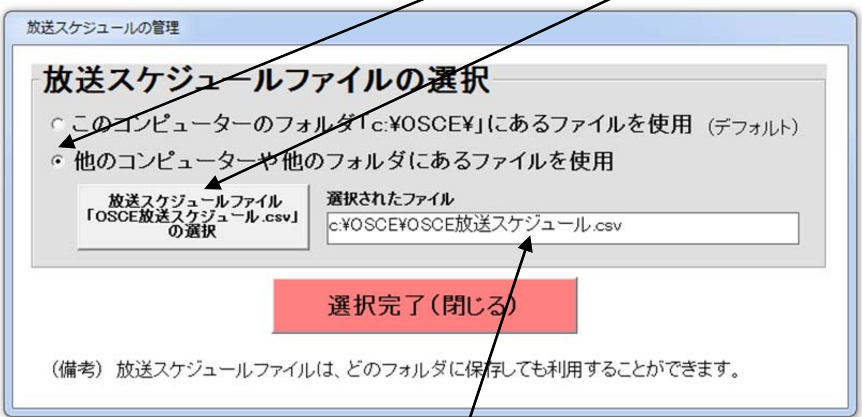


図 3-4

4. 任意の放送スケジュールファイルを開く。その際、ファイル名は「OSCE 放送スケジュール」でなくてもよく、ネットワーク 上の共有フォルダでもよいです。ただし、ファイル形式は、CSV（カンマ区切り）形式である必要があります。
5. 選択されたファイルが図 3-4 に表示されたことを確認し、「選択完了（閉じる）」ボタンをクリックします。

6. 画面上の「監視開始」ボタンを押します。管理画面の背景がピンク色になり、放送スケジュールが読み込まれ、表示されます。(図 3-5)。

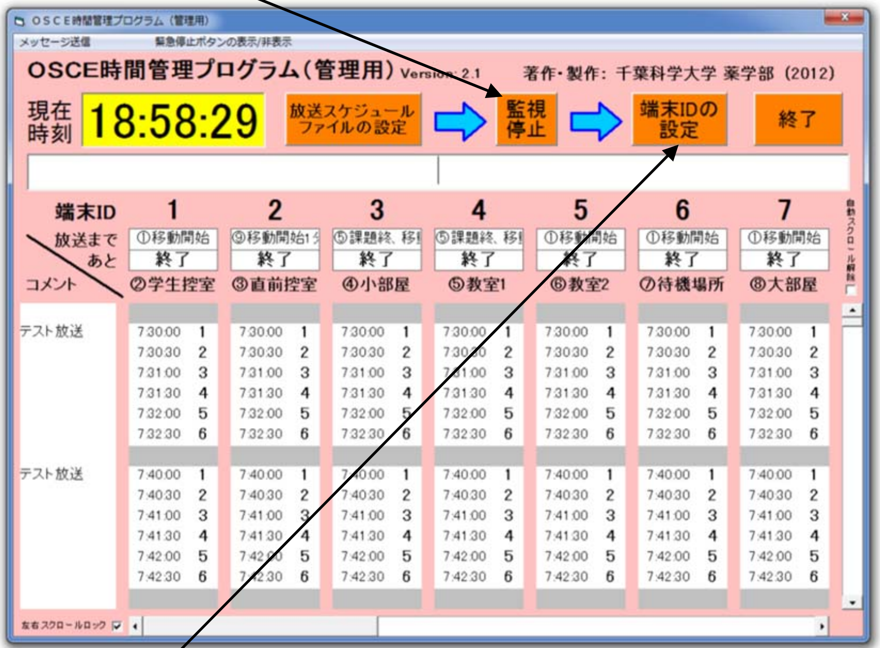


図 3-5

7. 画面上の「端末 ID の設定」ボタンを押してください。図 3-6 が表示されます。
   ① 端末名称は、放送スケジュールのファイルに記載した名称が表示されます
   ② 端末 ID と自動停止位置の表記は、初期設定で図 3-6 のようになっています。
   ③ もし、使用する端末 ID が 1～7 でない場合は、不必要な端末 ID のチェックを外すことで、無効化されます。
   ④ 自動停止位置は、緊急停止プログラムで用いる設定です。緊急停止プログラムとは、OSCE を継続できないようなトラブルが発生した際に、案内放送を緊急停止することができるプログラムです。緊急停止プログラムを使用するためには、停止指示を放送できる箇所を事前に決定し、案内放送リストから選択する必要があります。

   （例）OSCE 実施の際は、「課題終了時」、「フィードバック終了時」、「移動開始時」に設定するとよいでしょう。



図 3-6

8. 「表示する端末 ID の設定」が終わりましたら、「閉じる」ボタンを押してください。

9. 管理用メイン画面の放送スケジュールの一部に黒枠が表示されます。表示されていない場合は、縦スクロールすることで見つけることができます。**この黒枠は、緊急停止プログラムで設定した自動停止位置を表しています。**通常は、設定した番号（例： 5 番、課題終了・移動開始）に表示されますが、**案内放送開始前に「17 開始 2 分前」、「18 開始 1 分前」を放送スケジュールに組み込んでいる場合は、それらの部分も自動停止位置として認識されます。**

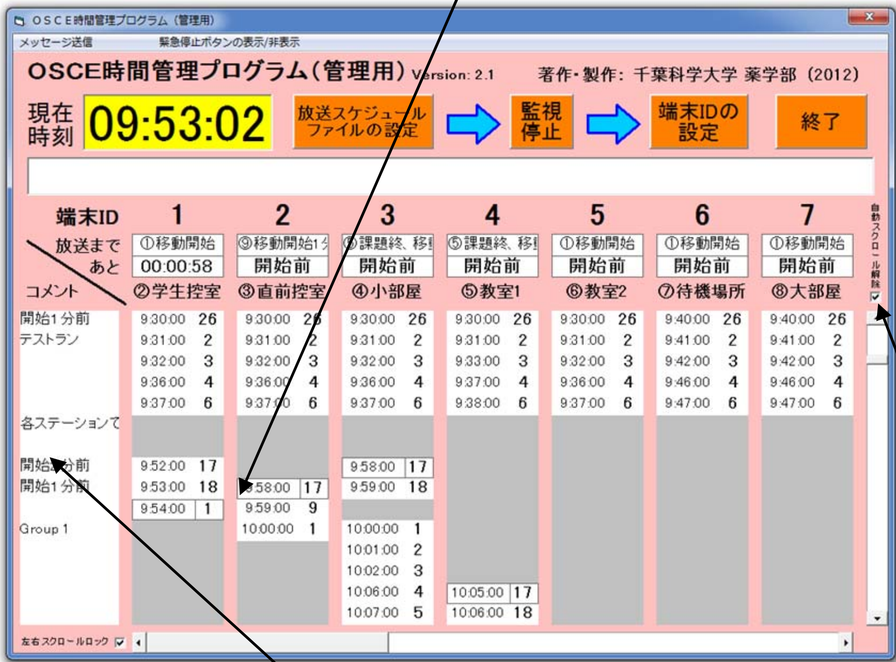


図 3-7

10. （重要） 本管理用プログラムでは、**時間経過に応じてスクロールする自動スクロール機能を有しております。そのため、任意に縦スクロールした場合でも、20 秒ごとにプログラムが自動的に適正位置に移動させます。その機能を解除する場合は、自動スクロール解除にチェックを入れてください。**

＜自動スクロール機能の詳細＞

2 つの機能があります。

- 時間経過に応じてスクロールする自動スクロール機能
- 放送スケジュールが組まれているにも関わらず、放送エラー（放送していない、放送内容が異なるなど）が生じた場合に、その箇所を明確にするため、放送エラー箇所を表示する機能です。

（使用例） デモ放送スケジュールでは、早朝にテスト放送が設定されております。それらが放送されていない場合は、自動スクロールしてそれらを表示する場合があります。

（放送エラーの解除方法） 放送エラーに問題ないと確認されたならば、左端カラムでダブルクリックして頂くと、図 3-8 が表示され、「はい」を選択することで、<u>クリックした位置よりも上方データのエラーが解除され</u>、時間経過に応じて自動スクロールを行います。

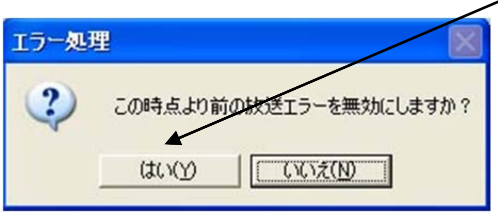


図 3-8

11. 端末用コンピューターにより、適切に案内放送が行われると、端末用コンピューターは管理用コンピューターに放送ログを記録します。その放送ログを管理用プログラムが読み取ることで、放送したスケジュールを青色にして表示します（図 3-9）。放送エラー（放送内容が違う）が生じた場合は、黄色になり、その箇所にカーソルを合わせて頂くことで、誤った内容が表示します。通常の場合、放送番号にカーソルを合わせると、放送内容を表示します。

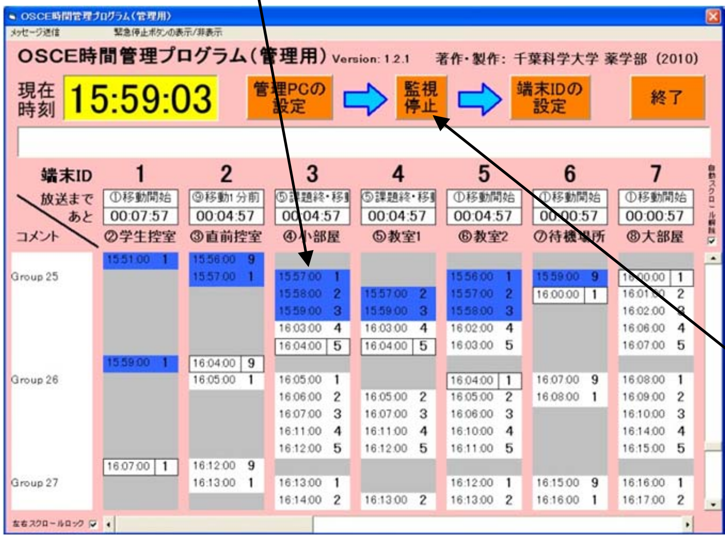


図 3-9

12. 管理用プログラムを終了する場合は、遠隔監視を停止する必要がありますので、「監視停止」ボタンを押してください。図 3-10 が表示されますので、「はい」を押すことで遠隔監視が停止します。メイン画面が図 3-11 のようになりますので、「終了」ボタンを押すことでプログラムが終了します。



図 3-10

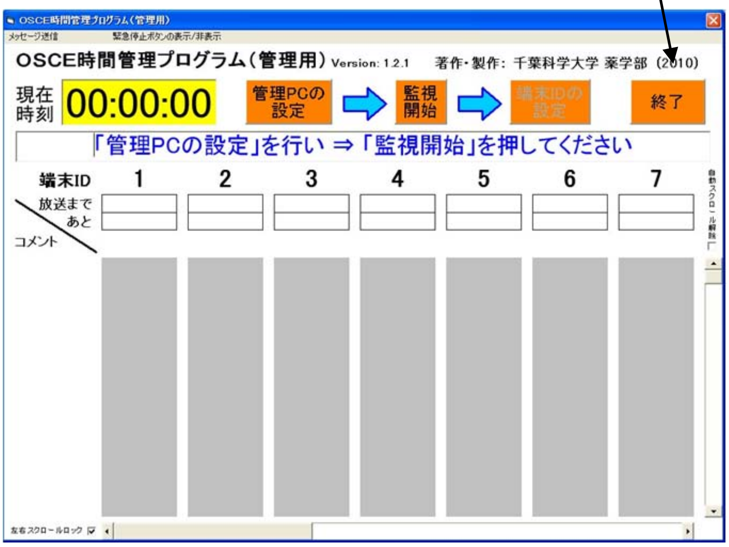


図 3-11

13. （追加機能：メッセージ送信）管理用コンピューターから、端末用コンピューターにメッセージを送信する

左上にある「メッセージ送信」を押すことで、図 3-13 が表示されます。空欄にメッセージを書き、「送信」を押すことで送信されます。**ただし、空欄の幅を超える文字は表示されませんので、ご注意ください。** 以前に送信した文章がそのまま残っていますので、文章を削除したい場合は、「削除」と「送信」を押すことで、端末用コンピューターへのメッセージが削除されます。



図 3-12

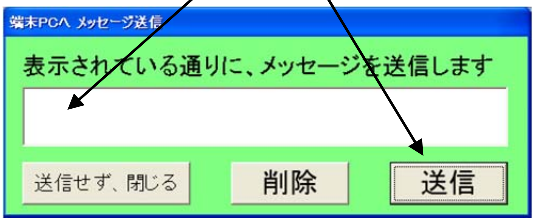


図 3-13

14. （追加機能：緊急停止プログラム）受験学生が倒れるなど、OSCE を継続できないような事態が生じた場合、OSCE を一時中断する必要があります。しかし、OSCE を実施する際に多くの部屋を利用している場合が多く、各部屋への迅速な連絡は難しいと考えられます。

この管理用プログラムでは、このような状況に対応するために、追加機能「緊急停止プログラム」を有します。手順 8 で示したように、予め停止可能な放送箇所を指定しておくことで（例：課題終了時）、トラブル発生時に「緊急停止ボタン」（通常は非表示）を押すことで、設定した箇所で案内放送を自動停止します。また、放送内容も自動的に変更し、停止時の指示も放送で行います。以下に、その緊急停止の方法を記載します。

＜緊急停止の仕方＞

① メイン画面の上にある「緊急停止ボタンの表示/非表示」を押してください。



図 3-14

② メイン画面上部に「緊急停止」ボタンが表示されます。「緊急停止ボタンの表示/非表示」を再度押すと、「緊急停止」ボタンはなくなります。



図 3-15

③ 「緊急停止」ボタンを押すと、図 3-16 のように、黒枠の箇所の放送内容が変更され(例:「5 課題終了・移動開始」から「停止表示」に変更)、その下に、同時刻に「6 課題停止」、その直後に「99 トラブル発生のアナウンス」が予約されます。以後の放送スケジュールは自動的に 1 時間繰り下がります。ここで、**緊急停止した場合でも現在行っている課題の進行に影響しません。**



図 3-16

④ 緊急停止プログラムにより、放送スケジュールが変更されると、その情報は端末用プログラムに送信され、端末での放送スケジュールが直ちに変更されます(およそ 5 秒で更新されます)。端末の放送スケジュールが変更されたことを確認するため、更新された端末については、端末 ID の欄に、「update」と表示されます。全ての端末が更新されると、「88:88:88 に全ての端末のプログラムを更新しました」とメッセージが表示され、「update」の表示はなくなります。

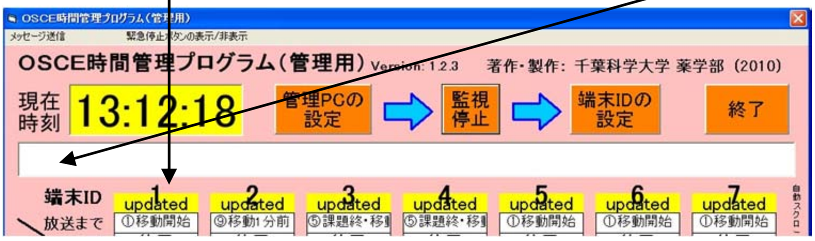


図 3-17

⑤ トラブルが解決し、再開する場合は「プログラム再開」ボタンを押すことで、図 3-19 のように約 1 分後に「90 トラブル・再開アナウンス」が放送スケジュールに予約されます。通常の案内放送の時間は停止時の状況に応じて放送時間が変更されます。通常放送に戻る 1 分前に、「91 再開 1 分前」が放送スケジュールに予約されます。

（注意）緊急停止時間は 1 時間です。停止から 1 時間経過すると、自動的に通常の案内放送を開始しますので、それまでに、トラブルから復帰して頂きますよう、お願いします。

図 3-18



図 3-19



（追加機能：管理コンピューターから手動での放送スケジュールの更新）放送スケジュールを管理用コンピューターから更新する場合は、次の手順を取る必要があります。

① エクセル等を使用し、放送スケジュールを変更してください。

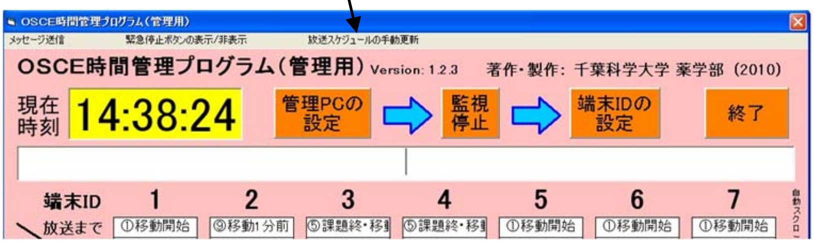
② エクセル等を使用する場合は、必ず、CSV（カンマ区切り）形式で保存してください。

③ 現在使用している放送スケジュールのファイルに置き換えてください。（直接このファイルを編集して頂いても OK です）

（重要）この状態では、管理用、端末用共に、更新されません。

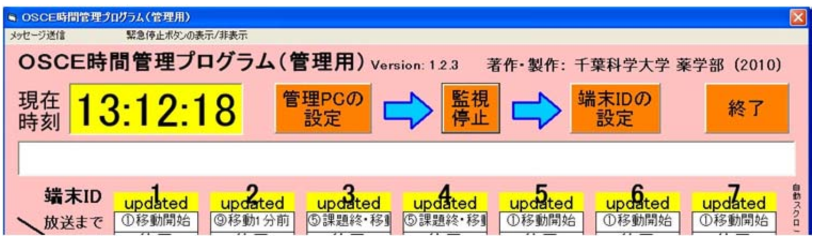
④ 管理画面のタブ「放送スケジュールの手動更新」をクリックしてください。

図 3-20



⑤ 端末の放送スケジュールが更新されると、端末 ID の欄に、「update」と表示されます。全ての端末が更新されると、「88：88：88 に全ての端末のプログラムを更新しました」とメッセージが表示され、「update」の表示はなくなります。

図 3-21



第 4 章　OSCE、OSCE トライアルでの本番使用

操作方法に関しては変更ありませんが、注意事項を書かせて頂きます。

＜注意事項＞

1.　すべてのコンピューター内蔵の時計を合わせる

　コンピューターの時計を基準に、放送を行うため、コンピューターの時計が正しくない場合、端末間で案内放送のタイミングが合わない場合がある。このタイミングのずれを無くすため、本プログラムでは、インターネット上のタイムサーバーを利用して自動的に時計の時刻を更新します（10 分間隔）。正しく時刻が更新されるかの確認のため、**端末用プログラム・管理用プログラムがインストールされたコンピューターすべてにおいて、次の操作を行ってください。ただし、管理用プログラムでは以下の操作ができませんので、端末用プログラムを立ち上げ、設定後に管理用プログラムをご利用ください。**

(ア) 端末用メイン画面（図 4-1）のタブ「時計の自動同期」の「時計の自動同期の実施（10 分間隔）」をクリックします。



図 4-1

(イ) 図 4-2 のような「ユーザー　アカウント制御（UAC）」画面が現れます。「はい」をクリックすることで、レジストリーを変更し、コンピューターの時計の自動更新を 10 分間隔に変更されます。参考：起動ファイルは「c:¥OSCE¥設定¥時計同期（同期間隔 10 分間）.bat」。

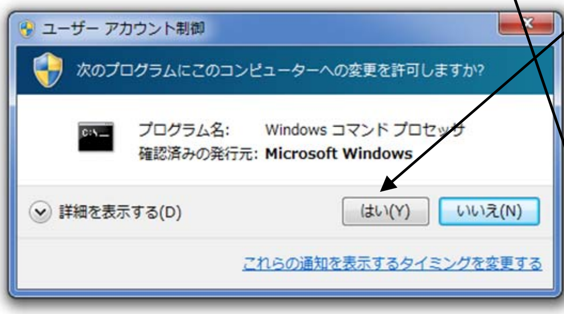


図 4-2

(ウ) （変更を元に戻すためには）再度、タブ「時計の自動同期」の「時計の自動同期の実施（10 分間隔）」をクリックすると、デフォルト状態である「1 週間間隔」に更新間隔が変更されます。

(エ) 上記作業だけでは、時計の自動同期が実施されない場合がありますので、次のページの操作を必ず実行してください。

(オ) Windows デスクトップ右下に表示されている時計をダブルクリックしてください。

(カ) 図 4-1 が表示されます。そのタブ「インターネット時刻」を選択します。

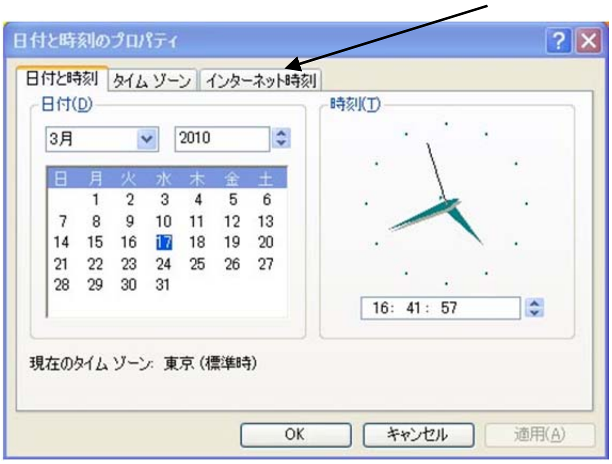


図 4-1 （画面は Windows XP の場合）

(キ) Windows XP の場合は、図 4-2 のように画面が変わります。「今すぐ更新」を押し、暫くお待ちください（Windows7 の場合は、次のページ参照）。

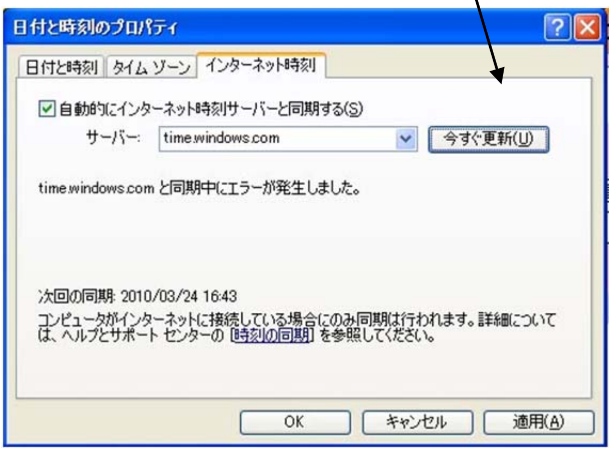


図 4-2 （画面は Windows XP の場合）

(ク) 矢印の箇所に、「時刻は正常に 2010/88/88 88:88 に ○○○○○と同期しました。」と表示される場合は正しく時刻の更新が出来ております。問題ありません。

しかし、「**○○○○○と同期中にエラーが発生しました。**」と表示される場合は、**自動で時刻を更新できません。時計サーバー名が間違っている状況です。**そのため、案内放送のタイミングがずれますので、**コンピューターに詳しい教職員にお尋ねください。**質問内容:「時計の時刻を自動更新したいです。時計サーバーをどのように設定したらよいですか？」

(ケ) Windows7 の場合には図 4-3 のようになる。

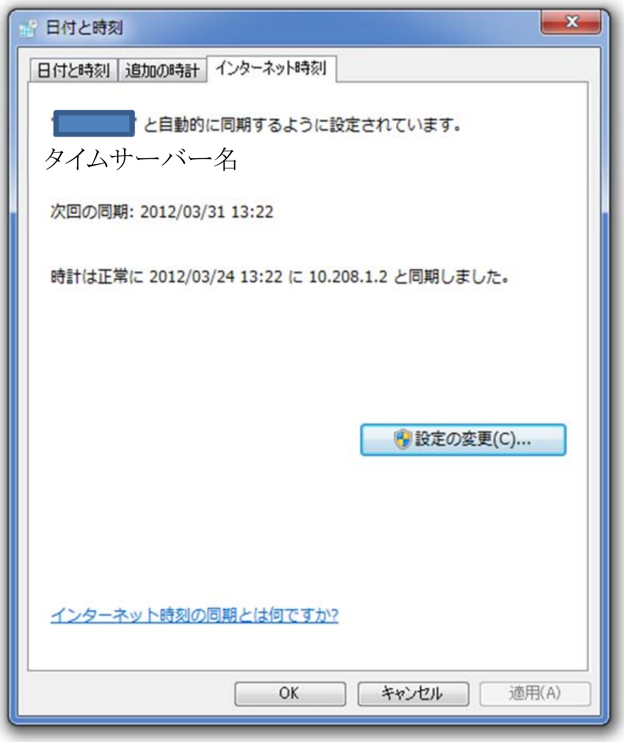


図 4-3　（画面は Windows 7 の場合）

(コ) ボタン「設定の変更」をクリックします。

(サ) 図 4-4 のように画面が変わります。「今すぐ更新」を押し、暫く待ってください。

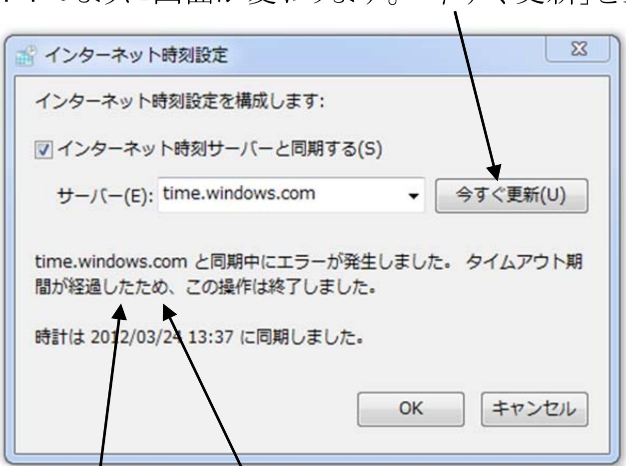


図 4-4　（画面は Windows 7 の場合）

(シ) 矢印の箇所に、「時刻は正常に 2010/88/88 88:88 に ○○○○○と同期しました。」と表示される場合は正しく時刻の更新が出来ております。問題ありません。

しかし、「**○○○○○と同期中にエラーが発生しました。」と表示される場合は、自動で時刻を更新できません。時計サーバー名が間違っている状況です。**そのため、案内放送のタイミングがずれますので、**コンピューターに詳しい教職員にお尋ねください。**質問内容:「時計の時刻を自動更新したいです。時計サーバーをどのように設定したらよいですか？」

2.　スクリーンセーバー設定と電源設定について（ディスプレイ画面を常に表示するため）

OSCE 案内放送中に、省電力設定によりコンピューターがスリープ状態になると、放送できなくなります。そのスリープ状態やスクリーンセーバー動作状態などを回避するため、本プログラム動作中は、55 秒間隔でキーボー操作を行います（Print Screen を押す）。

その 55 間隔でキーボー操作を停止するためには、以下の操作を行う必要があります。**通常これらの操作を行う必要がありません。**プログラム起動中に他の作業を行う場合のみ、ご利用ください。

注意：これらの機能は端末用プログラムにあり、管理用プログラムにはありませんので、ご注意ください。管理用プログラムの裏で端末用プログラムを起動しておくことをお勧めします。

(ア) 端末用メイン画面（図 4-5）のタブ「スクリーンセーバー設定」の「スクリーンセーバーの停止」をクリックします。



図 4-5

(イ) スクリーンセーバーを再度停止する場合は、「スクリーンセーバーの停止」をクリックします。

3.　Windows Update（自動更新）を無効にしてください（自動的に再起動するのを防ぐため）

(ア)「コントロールパネル」の「Windows セキュリティーセンター」を選択します

(イ) 表示される「Windows セキュリティーセンター」内の「自動更新」を選択します

(ウ) 表示される「自動更新」内の「自動更新を無効にする」を選択し、「OK」を押します

（備考） Windows から警告が発せられると思われますが、本ソフト使用中は、自動更新を無効にしてください。使用終了後、自動更新を有効にすることをお勧めします

4.　端末用コンピューターと外部スピーカーの接続

端末用コンピューターには案内放送を行うため、外部スピーカーを接続しております。コンピューター本体と外部スピーカーの接合部（コネクター部分）が正しく繋がっていることを確認してください。接触不良が生じますと、プログラムが放送しているにも関わらず、放送が流れない事態が生じます。このような事態は管理プログラムでは監視できません。

5.　放送番号の間違いの確認

放送スケジュールを、放送番号（例：「1　移動開始」など）を使用しますが、番号の記載ミスにお気をつけください。例えば、登録されていない番号を入力した場合は、「＜＜　番号の間違い　＞＞」と表示され、放送されません。

6.　不慮の事態に備えて

放送を行う端末用コンピューターが机の上から落下するなど、不慮の事態に備えて、各課題を担当されているスタッフの方に、案内放送が正しく放送されているかの確認はお願いすべきと考えます。また、コンピューターが動作できなくなった時のことを考え、放送スケジュールを印刷し、各ステーションに配布すべきと考えます。

第 5 章　利用期限の更新（端末用のみ）

公開されているプログラムは試用版であり、ダウンロードから 2 か月間 の利用頂けます（図 5-1）。本プログラムを継続利用する際には、ユーザー登録が必要となります（無償）。以下のユーザー登録することで、申請日から 3 年間利用することができます。

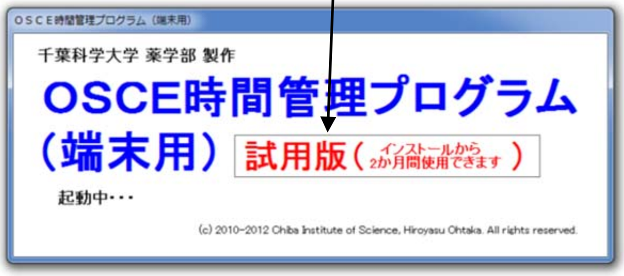


図 5-1　（未登録の場合）

＜ユーザー登録＞

ユーザー登録を行うためには、端末用メイン画面（図 5-2）のタブ「ヘルプ」の「ユーザー登録」をクリックすると、図 5-3 が表示されます。



図 5-2

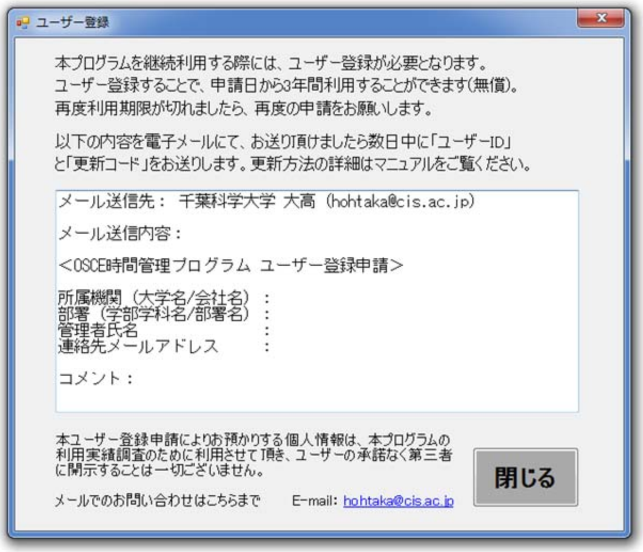


図 5-3

ユーザー登録情報（所属機関（大学名・会社名）、部署、管理者氏名、連絡先メールアドレス）を千葉科学大学　大高泰靖（hohtaka@cis.ac.jp）にメールにてお送りください。お送り頂けましたら、数日中に「ユーザーID」と「更新コード」をお送りします。

備考）本ユーザー登録によりお預かりする個人情報は、本プログラムの利用実績調査のために利用させて頂き、ユーザーの承諾なく第三者に開示することは一切ございません。

＜利用期限の更新＞

ユーザー登録を行い、入手した「ユーザーID」と「更新コード」をプログラムに登録し、利用期限の更新を行う必要があります。利用期限の更新を行うためには、端末用メイン画面（図 5-4）のタブ「ヘルプ」の「利用期限の更新」をクリックすると、図 5-5 が表示されます。

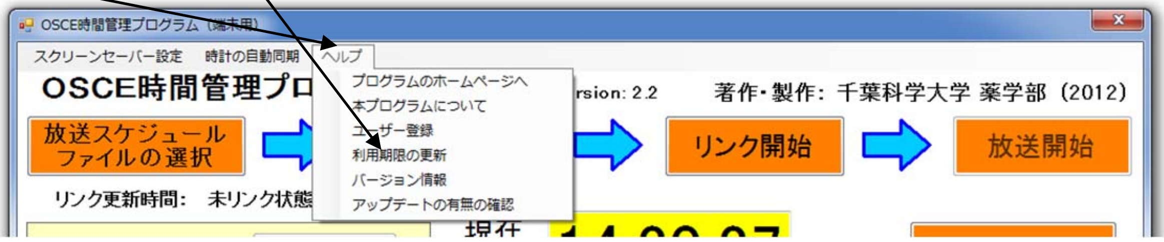


図 5-4

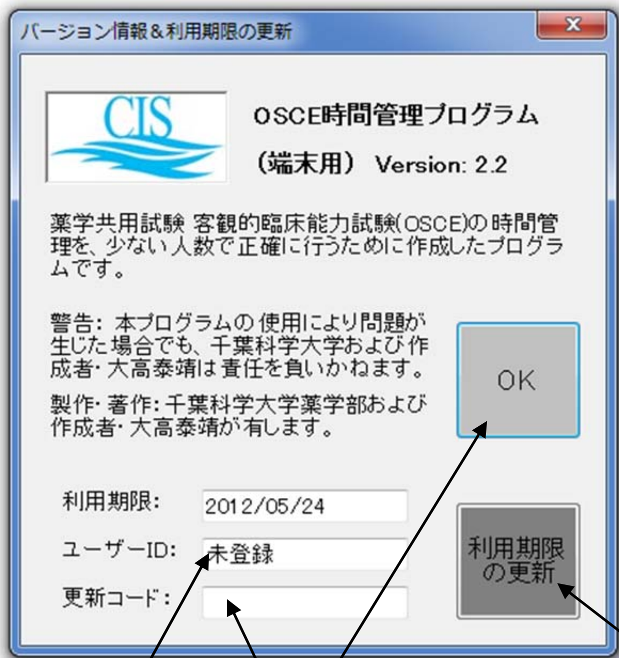


図 5-5

入手した「ユーザーID」と「更新コード」を記入し、ボタン「利用期限の更新」をクリックすると図 5-6 が表示され、更新終了です。更新コードの入力を間違えますと更新できませんので、間違えなく入力ください。最後に「OK」を押して、画面を閉じてください。

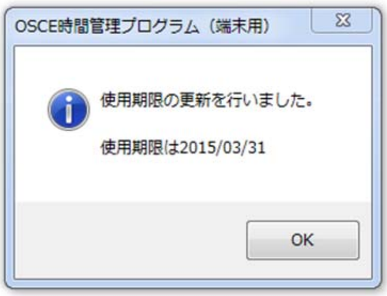


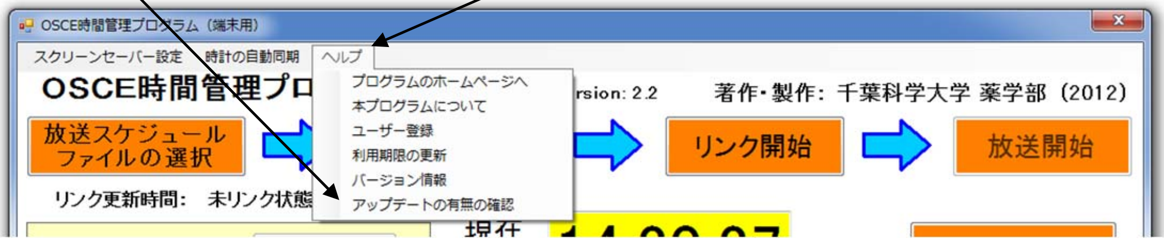
図 5-6

＜プログラムのアップデートの確認＞

ユーザーが使用されているプログラムに問題が生じない限り、プログラムをアップデートする必要がありませんが、アップデートを確認されたい場合は以下の操作を行ってください。

アップデートの確認を行うためには、端末用メイン画面（図 5-7）のタブ「ヘルプ」の「アップデートの有無の確認」をクリックしてください。アップデートファイルがある場合は、画面の指示に従い、プログラムを一旦終了する必要があります。また、現在使用しているプログラムは上書きされ、消去されますので、アップデートする際はご注意ください。

図 5-7



第 6 章　トラブルシューティング

1. 放送を行う端末用プログラムで案内放送が流れない

（原因）　Windows の音量設定が 0 になっている

（対策）　Windowsの音量設定を変更するためには、デスクトップの右下にスピーカーマークをダブルクリックするか、コントロールパネルの「サウンドとオーディオ デバイスのプロパティ」を開いてください。その後、ミュートされていないこと、音量の設定が 0 でないことを確認してください。それでも音量がでない場合は、同画面に詳細設定がありますので、それを開き、「WAVE」の設定がミュートされていないこと、音量の設定が 0 でないことを確認してください。

2. ネットワーク上のトラブル

（原因）　設置機関により、ネットワーク設定は異なりますので、原因は不明です

（対策）　ネットワーク管理者、コンピューターに強い教職員にお尋ねください。

3. プログラムが起動できない・プログラムに起因する問題

（原因）　プログラムに問題があります

（対策）　他のコンピューターにインストールした場合でも生じる場合は、作成者までご相談ください。

4. Windows Vista における時刻の遅延問題

（症状）　Windows Vista と作成に用いた Visual Studio 2010 との相性の問題により、1-2 秒程度動作が遅くなります。原因は不明ですが、遅延以外に問題はなく、問題なく利用することができます。

（対策）　現時点では、Windows XP SP2 以上、Windows 7 32/64bit で動作確認を行っております。時間遅延に関して考慮する場合は、Windows Vista 以外の OS でご利用ください。もしくは、1-2 秒遅延しても問題がない箇所でご利用ください。